



平成27年 5月29日 NO・29

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269 -2116 FAX029-269 -3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

相手の心をさわやかにする挨拶

新学期が始まって二月が過ぎようとしている。
 その間、出張のない日の朝は正門に立ち、生徒たちを迎えてきた。
 常中の生徒たちは、ほぼ挨拶ができています。とてもうれいことだ。
 その中でも、一際挨拶のすばしい生徒があるので紹介したい。彼の挨拶は、ただ通り一遍の挨拶ではない。
 心にしみる挨拶をする。

私のそばを自転車で通り抜けるとき、必ず私の方へ視線を投げてくれる。
 そして、ヘルメットのツバにちよつと手を添えて
 「おはようございます」と言う。
 実にさわやかだ。
 アメリカの行動心理学者であるゴールドマン博士が「人間の聡明さを決めるのは知能指数IQではなくてEQである」と唱え、

一躍有名になった心の知能指数といわれるEQ。
 この心の知能指数の高さは、例えば挨拶に表れる。相手の心を思いやり、手をさわやかにする心を尽くした挨拶のできる人はEQが高い。
 常澄中学校に集う、生徒も教師も、さわやかに挨拶ができるEQの高い人間集団でありたいものだ。そのような願いを込め、まずは自分から校門で朝の挨拶を続けている。



協働して学ぶ1年生の美術の授業

1年生の美術の教室にお邪魔した。(横須賀圭子先生担当)
 モダンテクニック、スパッタリングという技術の習得をしていた。
 スパッタリングとは、金網に濃いめの絵の具を付け、画面から10cmくらい離してブラシでこする。そうすることで細かな絵の具の粒子が画面に飛び、幻想的な表現をするための技法だ。
 1年生たちは、それぞれの学習班で協力しながら作業を進めていた。
 「ねえ、これ色薄いかな。」「もうちよつと濃い方がいいと思うよ。」など、協力する様子うかがえた。
 日本人の学びで、課題の一つとして上げられているのは、まさに「協働」である。この授業のように、日本の子供たちの協働能力や主体的に学ぶ意欲を日々の授業で養いたい。

